

土地家屋調査士制度制定50周年



日本土地家屋調査士会連合会



—昨年以來18700名の会員とその関係者の、清新の氣に満ちた数々の制度制定50周年記念事業の締め括りとして、総括的な本誌が発刊される運びとなったことを喜びたい。本誌は、内に向かつては制度制定50周年記念事業を詳細にわたって振り返りながら、現在に生きる者たちが、50年にして初めて学び得た制度の将来像を描きながら、そこに到達する鋭気を鼓舞し、将来的志向の今日一步をいかに律するかを問う指標として座右に置かれることを希い、外に向かつては、表示登記制度の担い手として国民の負託に応えながら、不動産に係る権利の明確化に寄与する唯一の国民的制度として、その在り方の理想を追求して止まない調査士集団の実態を理解して頂くための情報の提供と考えている。

50年という歴史は、表示登記制度に於いてもIT化の進展に伴って限りない変革をもたらし、止まるところを知らない現状にあるが、調査士制度をめぐる表示登記制度の本質的变化はなくその高度化と重要性はさらに増大しつつある。さらに、司法制度改革の大きな柱の一つとされる裁判外紛争解決制度いわゆるADRに対する社会的要請は極めて高まっており、土地家屋調査士の専門性に依存した境界紛争解決制度の創設へ向けて大きな期待が寄せられている。規制改革の潮流にせよ、司法制度改革の潮流にせよ、座して待つのみでは流される可能性が高い。むしろ立ち向かってこそ新たな潮流を生み出すことが可能である。

制度制定50周年記念事業が、新たな潮流の源流に位置しなければ、少なくとも祝うということにはならないであろう。と同じく50年の伝統はただ受け継いだだけでは意味を成さない。伝統は常に新しさを加えながら新たな伝統の端緒に位置し続けなければ受け継いだことにはならないのである。本誌を次なる50年の歴史の一ページに位置できるよう念じながら発刊の辞に代えたい。

日本土地家屋調査士会連合会会長 水上 要蔵

目次

土地家屋調査士制度50年の沿革	6
祝辞	8
50周年記念式典	13
制度制定50周年記念講演 変革の時代を迎えて	14
ひと・とち・みらい——地籍を考える 「地籍国際シンポジウム」を開催	36
50周年記念キャンペーン 「境界キャンペーン」 「表示登記はお済みですかキャンペーン」	70
伊能ウオーク 50年史上初 全会員参加事業	72
調査士会の50周年記念事業	100
制度制定50周年記念対談	150
連合会の歩み並びに土地家屋調査士制度 及び不動産登記制度の変遷	172
連合会歴代役員名簿	184
叙勲・褒章受章者名簿	193